
Fourever

Friend

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Forever

【コード】

N4118B

【作者名】

Friend

【あらすじ】

第二話は晴海が初めて海斗と溜まり場で出会う。

第二話：初出会い（前書き）

読んで何か感じてくれるといいと思います。

第二話：初出会い

「ほんと久しぶり！」

晴海はそう言った。

「ただど皆が皆久しぶりに会った訳ではない。ちょうど一週間前に美穂奈と逢っていたのだ。」

「久しぶり…じゃないよね？あはは」と美穂奈は言った。

『ん…？ああ久しぶりではないんちゃん？はは』そんな会話をしている二人を皆心配そうに見ている。

実はこの二人、溜まり場の中でも1番仲が悪いのだ。

「晴海可愛いよなあ。」

この美穂奈の彼氏らしいの言葉から仲が悪くなったのだ。すると、

ガチャ

タイミングよく誰かがやってきた。

「チィ〜ス！久しぶり。溜まってるか？」

と言いながら皆と同じ年くらい歳の男がやってきた。

「お！海斗じゃん！久しぶり。溜まってるつのお前溜まりとぼつてんじゃねえよ〜！」

楽しそうにらいが言う。

「さぼってるとか言わないだろお！」

と男も楽しそうに言う。

「あはは〜！」

晴海以外みんな楽しそうにして喋っている。

晴海は黙っている。

『…』黙っていると、ななせが晴海に気がついた。
ななせは細かい所に敏感だ。

「晴海ちゃん？どした？」

と晴海に聞いてきた。

『…』晴海は何も答えない。

「あっ…」

何かを悟ったように口を開いた。

「みんなあ！晴海ちゃんは知らないんだよ！紹介しなきゃでしょ？」

「！」

ななせは見た目は控え目な感じだが以外とまとめ役することがある。

「あ。ごめん。」

男は晴海に向かって言う。『…』続く

第二話・初出会い（後書き）

読んで下さりありがとうございました。次回お楽しみにして下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4118b/>

Fouever

2010年10月15日22時23分発行